

## 「お帰り、えんまさん」 地震から5年ぶり！

寺迫交差点の北東に鎮座する「寺迫地蔵堂」（通称・えんま堂）は、永禄9（1566）年の創建と伝えられています。

しかし熊本地震で倒壊し、その後、町からの補助や住民の人たちの寄付により、再建が進みました。

「地震でえんま像や菩薩像などの4体が激しく損傷しましたが、福原に住む矢嶋正興さん（83）のご協力により、美しく修復できました」と話すのは、寺迫区長の本田光照さん（71）です。地蔵堂の再建工事が完了し、今年3月14日に遷座祭が行われました。

真新しいお堂に鎮座した4体の像はどれも、晴れやかな表情を浮かべています。それでも、えんま像を

見上げると「悪いことはしてねえか」と声が聞こえてきそうです。えんまさんは地蔵さまの化身とされ、昔から地域の子どもたちは「嘘をつくと、えんまさんに舌ば抜かれるぞ」としつけられたそうです。

「えんま堂は、寺迫の守り神。毎年8月16日に『えんまさんまつり』が行われ、子どもたちによる『願ほど

が続きます。が、今年は祭りが開催できることを願うばかりです。コロナ禍で気が休まらない日々が続きますが、今年は祭りが開催で



「えんま堂について詳しく教えてくれた、寺迫区長の本田光照さん



真新しいお堂に鎮座するえんま像や地蔵像



「寺迫地蔵堂」から見える寺迫交差点の風景。正面は益城町文化会館



今年3月に遷座祭が行われた「寺迫地蔵堂」



春には桜の名所となる「秋津川河川公園」



「秋津川河川公園」に茂る桜の葉が太陽に照らされ輝いていました

### 散歩の終わりに

夕刻に吹く風は気持ちよく、汗ばんだ体の中を心地よく通り抜けます。

散步の最終地点は秋津川河川公園。午後6時といえども空は明るく、東屋に座り一日を振り返ります。

たくさんの笑顔に出会いました。心なごむ時間が巡りました。地震後の苦労を乗り越えてきた、みんなの元気をいつぱり返ります。

今日はの出会いに感謝です。

